

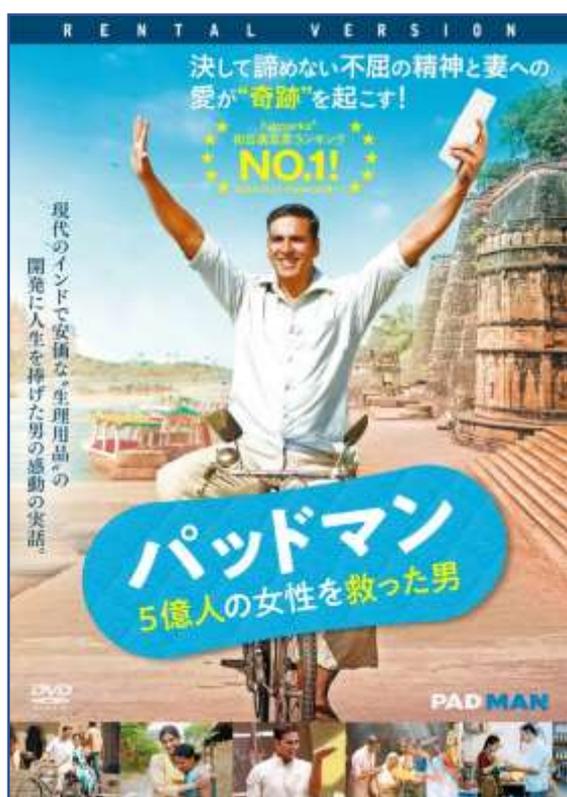
No.128  
2022年2月

# 新潟県女性センター情報

男女が共に参画し 多様な生き方が選択できる社会をめざして

新潟県女性センター講座 DVD 上映会開催 ～国際女性デー関連イベント～

## 『パッドマン 5億人の女性を救った男』 (日本語吹替)



© 2018 CAPE OF GOOD FILMS LLP. All Rights Reserved.

### ★国際女性デー (3月8日)

国際婦人年とされた1975年に国連が定めた記念日です。世界の多くの国々で女性の権利と政治的、経済的分野への参加を支援する記念行事が行われます。今年のテーマは、「持続可能な明日に向けて、ジェンダー平等をいま」です。

3月8日は、国連の定める「国際女性デー」です。

女性財団では、女性センター講座の一環としてこの日に「パッドマン 5億人の女性を救った男」の上映会を開催します。

この映画は、清潔で安価な生理用ナプキンが手に入らず苦しんでいたインドの女性たちを救うため、低コストの商用パッドの開発に奔走した実在のインド人男性の苦悩の道を映画化した感動の伝記ドラマです。

日本でも「生理の貧困」が話題になりました。

「ほんとなの？」と気になっても、話しをすることをためらう人は多いのではないのでしょうか。生理は、命や健康につながる、男性も一緒に考えてほしい大切なことです。この映画を見て、何か話すこと、考えることのきっかけになればと思っています。

開催日時：2022年3月8日(火)

14:00～16:30(開場13:30)

会場：新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール  
(新潟市中央区上所 2-2-2)

上映協力金：100円

定員：90人(会場定員の約1/5)  
※申込先着順 ※一時保育あり(要申込)

お申込み：財団ホームページ  
「お申込みフォーム」(<https://npwf.jp>)  
電話・FAXでも受け付けています。

### ☆感染拡大防止のご協力とお願い☆

- ・ マスク着用、手指消毒、ソーシャルディスタンスにご協力ください。
- ・ 体調がすぐれない場合は、参加をご遠慮ください。
- ・ 欠席される場合は、事務局までご連絡をお願いします。
- ・ 感染症の状況により、中止することがあります。



こちらから

今年度事業を  
振り返る

令和3年度は、コロナ下ではありましたが、オンラインなど工夫しながら様々なセミナー・イベントを行うことができました。  
なかでも、新しい試みとして、様々な困難を抱える女性への支援や、企業における女性活躍支援などの取り組みを始めました。いくつかの事業をピックアップしてご紹介します！

6月

〇 <sup>ひと</sup> <sup>ひと</sup> にいがた女と男フェスティバル

昨年度は新型コロナ感染拡大の影響で11月開催となったフェスティバル。今年度は工夫をしながらいつもの6月に開催できました。基調講演は、坂東眞理子さんをお迎えし、「アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)」をテーマに行いました。

初めての試みとして、ウェビナーを利用したインターネット配信を行いました。オンラインは遠方からでも参加しやすかったと好評で、県内はもちろん県外からもご参加いただきました。

\*令和4年度のフェスティバルは  
6月18日(土)から26日(日)まで、  
基調講演は6月26日(日)午後、講師はフリーアナウンサーの「笠井信輔」さんを予定しています。詳細が決まりましたら、当財団HPにてお知らせします。ご期待ください。



講演会  
会場の様子

8月～

〇 新潟県 女性のための相談窓口  
「にいがた Ribbon net」スタート

新型コロナウイルス感染拡大等により様々な困難をかかえる女性を支援するため、相談・支援の総合案内窓口「にいがた Ribbon net」(web サイト)を開設しました。(新潟県委託事業)

望まない孤独・孤立などで不安を抱える女性が社会とのつながりを回復し、行政やNPOなどによるきめ細かい支援につなげます。



また、県内の様々な相談・支援窓口の連携体制づくりも進めています。フードバンクや子ども食堂、DV、ひとり親支援など様々な切り口で相談・支援を行っているそれぞれの窓口が、共に考え、課題解決に向け協力してアプローチしていくことが大切と考えています。それぞれの分野の情報交換やよりきめ細かい支援を行うための勉強会などを行っています。

まだまだ始まったばかりですが、少しずつ連携の輪を広げ、きめ細かい支援につなげていきたいと考えています。

9月～11月

〇 企業の女性活躍を加速する  
「ダイバーシティ・マネジメント研修」

企業(働く場)における男女共同参画・女性活躍が大きな課題となっています。今年度は新たな試みとして、企業の管理職の方などを対象としたセミナーを開催し、延べ100人以上の方から参加いただきました。(オンライン開催。新潟県委託事業)



〈参加者の感想から〉

- ・ これから会社で取り組んでいく必要性がわかりました。
- ・ 女性活躍が成功している会社の共通点を参考に社内でも推進できるようになりました。グループワークで他社の方の状況や取り組み内容を聞いて参考になりました。
- ・ ハラスメント とても勉強になるセミナーでした。普段の自分の言動や社内ルールを見直す機会となりました。

\*\*\*\*\*

女性財団は企業の女性活躍を応援しています。

財団の様々なセミナーを企業研修にご活用ください。また、職場研修の企画や実施方法などのご相談にも応じています。お電話、メールなどお気軽にどうぞ。

\*\*\*\*\*

11月

## ○ 女性に対する暴力をなくす運動

今年も全国の運動期間に合わせ11月25日から1週間、新潟ユニゾンプラザをパープル（紫）でライトアップしました。

多くのみなさんからのご支援、ありがとうございました。

現在、性暴力に関する刑法改正（厳罰化）の作業が進んでいます。誰もが被害者にも加害者にも、傍観者にもならないよう運動を続けていきます。

新潟ユニゾンプラザ  
紫色にライトアップ  
した様子



### パープルライトアップ収支報告

#### 1 収入の部

○ パープルライトアップ募金	77,783円
○ 新潟県女性財団支出金	3,456円
合計	81,239円

#### 2 支出の部

○ LED 照明借上料	50,688円
○ パープル・リボン制作費	2,956円
○ チラシ等印刷・郵送費	27,595円
合計	81,239円

## トピックス



### ○ 女性活躍に向けた 北海道・東北地方・新潟県知事共同宣言

#### 「輝く女性 ほくとう宣言」

昨年11月、新潟県の花角知事はじめ、北海道、東北地方及び新潟県の8人の知事が女性活躍の一層の推進に向け「輝く女性 ほくとう宣言」をしました。

県知事が自ら率先して次の事項に取り組んでいくこととしています。今後が期待されます。

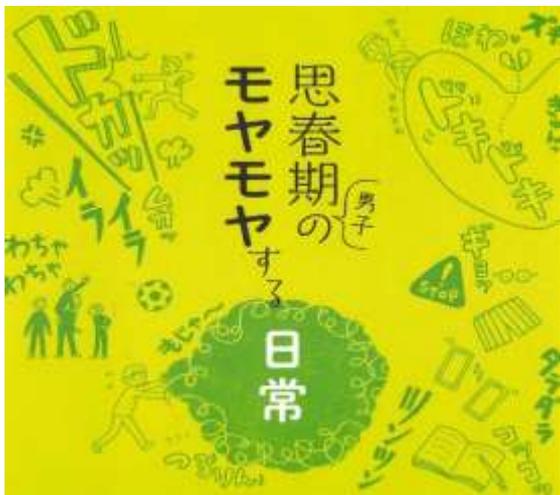
- ① 政策・方針決定過程への女性の参画拡大（組織トップ層の意識改革と女性リーダーの育成）
- ② 固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）の解消
- ③ 男性の家事・子育てへの参画、育児休業の取得促進
- ④ 男女間の賃金格差の解消や待遇の改善
- ⑤ コロナ下で不安を抱える女性に寄り添った相談・支援

## お知らせ

### ぶっくばらんす 4号

#### 「思春期男子のモヤモヤする日常」3月発行！

「大事だけど、話にくい」「知りたいけど、聞きにくい」



「子どもと男女共同参画」をテーマに毎年制作している女性財団の啓発誌「ぶっくばらんす」が3月に発行されます。

今回は、思春期真っ盛りの中학생男子が主人公です。男子にも自分の大切な体を守ること、相手も大事にすることを覚えてほしいと思い作りました。

「思春期あるある」に始まり、「変化するからだ」「恋についてのお悩み」「これは性暴力？」の4部構成です。

性的話は「恥ずかしい」「そのうち、自然にわかるよ」と思ってしまう人も多いですが、大人にとって「大事だけど、話にくい」こと、子どもにとって「知りたいけど、聞きにくい」ことを話すきっかけにしてみませんか？

- ・ご希望の方は、お問い合わせください。（無料）
- ・これまで発行した「ぶっくばらんす 1～3号」はホームページにてご紹介しています。併せてご覧ください。

会員情報

一般財団法人  
新潟県老人クラブ連合会



私たち老人クラブは、「男女共同参画のクラブづくり」を目指し女性役員が中心となり、以下の事業を展開しています。様々な分野で女性の視点を活かすことは持続可能な地域づくりにおいて重要です。今こそ、女性会員の力を結集し、明るい高齢社会実現に取り組んで参ります。

■ コロナ禍の偏見差別を無くすための  
“シトラスリボンプロジェクト×新潟県老連女性会員”  
女性会員が中心となり、リボンを作成。着用と同時に、知事や市町村長等にリボンを謹呈。活動自粛の中、このプロジェクトによって女性部再始動のきっかけとなりました。



■ 会員主体のハンドメイドを通じた  
“通いの場づくり”の推進

外出機会が減り、気力・体力が低下する中、参加者から多くの喜びの声が寄せられました。



■ コロナ禍における高齢者の生活意識  
と行動変化に対する意識調査の実施

高齢者の心身の健康維持や自殺予防の対策を探り、よりよい高齢社会実現に繋がります。

■ 心をつなぐ愛唱歌集

～歌でよみがえるあの頃の日々～の発行

会員にアンケートを実施、人気曲200選、歌にまつわる思い出を募集。人との繋がりが難しくなる中、「心をつなぐ」をテーマに懐かしく、心温まる一冊。単行本価格 1,500円



〈お問い合わせ先〉一般財団法人新潟県老人クラブ連合会 事務局  
〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階  
TEL:025-281-5548 FAX:025-281-5549  
メール: niigata-kenroren@s4.dion.ne.jp ホームページ: <http://niigata-rouren.com/>

新潟県男女平等社会推進課からのお知らせ

令和4年度「男女共同参画週間」のキャッチフレーズを募集しています

毎年6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。内閣府では、この週間の趣旨を広く浸透させるため、15歳から20歳のユース世代を対象に、令和4年度のキャッチフレーズを募集しています。ご応募ください。

□募集テーマ

「男だから」「女だから」といった性別役割意識にとらわれず、個性と多様性を尊重し、自身の可能性を信じて誰もが生きがいを感ぜられる社会を実現していくきっかけとなるキャッチフレーズ。

□応募期間 令和4年2月25日(金)まで

□最優秀作品は、国のポスターをはじめ、様々な機会に使用されます。

※応募方法など詳しくはこちらから

[男女共同参画キャッチフレーズ募集](#) または <https://www.gender.go.jp/public/week/week.html>



編集・発行

公益財団法人 新潟県女性財団  
〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-2  
新潟ユニゾンプラザ 2階/新潟県女性センター



HP



FB



twitter

- 電話 025-285-6610
- fax 025-285-6630
- メール npwf@npwf.jp
- ホームページ <https://npwf.jp>
- Facebook 新潟県女性財団
- twitter @npwfniigata

【編集後記】現在、啓発誌ぶっくばらんすを作成中です。中学生男子の心や体、性をテーマに、ネット検索したり、原稿を書いたりしていますが、他の文書を作成するときの漢字変換が、その影響を受けているので出てくる漢字にビックリすることがしばしばあります。変換ミスに要注意です。(お)